



環境省における移入種 駆除事業について

平成 15年 4月 15日

環境省が実施している 移入種駆除事業

- 島嶼での移入種駆除等の事業
 - ・奄美大島におけるマングース駆除
 - ・沖縄やんばる地域におけるマングース・ノネコ駆除
 - ・西表島におけるオオキヒガエル侵入の監視
- 皇居外苑濠移入種駆除等の事業
 - ・ブルーギル駆除

ジャワマンゲース (*Herpestes jabanicus*) について



- **科目** :食肉目マンゲース科
- **生態** :昼行性の中型哺乳類
- **原産地** :西アジア～南アジア～東南アジア～中国南部・ジャワ島

奄美大島におけるマングース 導入の経緯

- ハブ対策のため、名瀬市赤崎において、1978～1980年の3年間に、飼育繁殖させた計30頭のマングースが放たれた（南海日日新聞、1983）。
- 推定生息数は、1997・98年時点で3,000～6,000頭、1999年時点では5,000～10,000頭と推定。

奄美大島における主な 被捕食動植物

- 哺乳類

アマミノクロウサギ (EN)

アマミトゲネズミ (EN)

ワタセジネズミ

- 鳥類

アカヒゲ (VU)

- 爬虫類

キボリトカゲ (VU)

- 昆虫類・植物等

EN 絶滅危惧 B類

VU 絶滅危惧 類



出典：週刊日本の天然記念物
動物編14 (株小学館)